

SSKO

東腎協

東京都腎臓病患者連絡協議会
事務局 東京都新宿区

☎161 . 電話 .
郵便振替口座 .

加入者名 . 東腎協

79年 1月 19日

No. 24

難病患者の生きる道

私たち難病者は決して一人
物を考えてはなりません。一人
で考えれば悲しくなり、淋しく
なり、情けなくなります。みん
なで考え、みんなで知恵をだし
合い、話し合い、なぐさめ合い、
励まし合い、助け合い、愛し合
い、心から誠心誠意をもって通
じ合うことです。そして誰より
も強い心をもつことです。
(せんなんれん会報版15より)



え・中国三十日

昭和五十一年二月二十五日第三種郵便
SSKO通巻第三百十三号(毎週二回)
昭和五十四年一月八日発行

日・金曜日発行)

私の食道楽

東京都腎臓病患者連絡協議会

副会長 泉山知威

透析に入ってから六年三カ月、初めは何を食べていいのか分からなかったころと較べ、今は食事が楽しみの一つになってきました。

透析一年目の肉野菜炒めのまじりかたのこと、ただ肉と野菜を炒め減塩醤油をかけて食べたころは、何とまじりものを食べなければいけないのかと思いました。

しかし今は違います。自分の症状に合わせて、許されている範囲内で自分に合った食事を楽しんでおります。

少し例をあげてみましょう。まず第一は我が家特製の「肉野菜ラーメン」です。たいがい週一回は食べます。それも水分が多いので中一日の日に。生ラーメンを買って来て、肉野菜を炒めこれをラーメンの上にかけて食べます。カロリーも多少上がり、ラーメンも一・三〇〜一・四十分くらい食べてしまい、タレを飲まなくとも重量六〇〇グラムくらい食べてしま

います。

次に「八宝菜ライス」です。八宝菜をカレーライスの様にごはんの上にかけて食べます。水分が多いせいか食べやすくおいしいです。

また、我が家特製の「焼ソバ」も週一回は食べます。これはむしろ焼ソバに、肉、野菜を炒めますので水分は少なく、カロリーは高く中二日の時の食事にしていきます。その他、毎日今日は何を食べようかと楽しみにしております。

透析の食事療法といっても、血圧、カリウム等によりそれぞれ一人ひとりが症状が違います。でもその許される範囲内で食事を楽しみ、データーを良くしていく事は可能です。私もヘマト最低時十七%くらいから、ついに十二月十一日には四五・三%まできました。

それぞれの体調、好みに合わせ、頑張り大いに食事を楽しみましょう。

<おもな記事>



- 私の食道楽 (2)
- 年頭の辞 (8)
- 宝年会長が語る (4) / (5)
- ・ 昨年のこと、今年のこと (4) / (5)
- 年賀状ありがとう (4) / (5)
- 医療相談会開催する (6) / (7)
- 患者のための腎臓学 (8) / (9)
- 仲間のたより (10) / (12)
- 東腎協はじめてのバスハイク (13) / (14)
- 第五回関東ブロック会議開催 (14) / (15)
- 全腎協学習会東腎協から九名参加 (15)
- 事務局からのお知らせ (16)

美濃部 亮 吉

一九七九年の新春を迎えました。

この新春が、知事である私にとって十二回目の、そして在職最後の新年となります。

今年も、空前の財政危機に直面する都政の前途には、なお一層過酷な試練が待ち受けていることでありましょう。しかし、何よりも私たちが忘れてならないことは、いま当面するこの試練が、雌伏ではあっても単なる屈従であってはならないということであります。

この十二年間、憲法を一切の原理とし、



民主主義の実現をゆるぎない指針として進んできた私たちの都政は、疑いもなく自治の政治に光をあてて、この国の地方自治をリードすると共に、この国の政治の歴史に市民の時代という新たな一ページを書き加えてきたのであります。私たちは、こういう新しい時代を築き、担ってきた自信と誇り、責任を決して失ってはならないと思っております。

私たちは、引き続き内部努力など数々の財政立て直しに全力を注がなければなりません。今日の財政危機の真の原因は、言いまでもなく不合理な現行税財政制度にあります。同時に私たちにとって、今ほど景気の回復を期待する時もないのであります。しかも、この景気回復はいまや立場と階層とを問わず、ほとんど国民的な願望となつていられるにもかかわらず、政治と経済の低迷状況は、今年も重く私たちの上へのしかかっているのであります。

す。

折しも、この四月には統一地方選挙を迎えます。この選挙が民主主義を進め、中央政府を促す確かな一歩となることを切に願っておりますが、とりわけ私は、首都の知事選挙が占める意義と影響は、過去のいかなる場合にも増して重大なものがあると思っております。この十二年の間、都民と共に築いてきたさまざまな蓄積が、この選挙で寸断することなく受けつがれ、都政の民主化と都民の福祉がますます前進することを、心から念願するものであります。

年頭に当り、東青協のみなさまの一日も早い健康の回復をお祈りし、都政への変らぬ御支援をお願い申し上げます。

宝生会長が語る

“昨年のこと、今年のこと”

——昨年一年間の活動を振り返ってなにかひと言。

今年度（昭和五十三年）の運動方針のなかに会員数を「五〇〇名にする」という一項目がありました。私はその項目がなくても患者会を一度訪問して実情（病院内の問題、会員一人ひとりがどんな考え方で透析をしているのか）を知ったり、交流を深めてみたいと考えていました。実際に患者会を訪問してみると、会の会長（代表者）と会えなかつたり、会えでも十分な話し合いがなされないままに終ってしまったりしたことがままありました。

しかしながら、患者会が八つ生まれ、東腎協の会員は約一四五〇名（昨年の総会時一〇五四名）で、四〇〇名増えたことになりました。

これは、会費をただ単にもらうという事ではなく、運動の必要性がわかっても

らった上で加入していただいたのではなにかと思ひ、一番大きな成果だったと考へます。

都の関保については、それなりの成果（民営バス割引証、湯水問題、付き添い看護料の補助）があがった年でした。

全腎協についていいますと、二月一日の医療費改定において、全腎協を全面的にバックアップしてその成果をおさめたことです。

これだけの運動の成果をあげたことは実りのある一年間であつたと思います。

——今年の展望については、どうお考へてすか。

非常に頭の痛くなる問題です。今年が一番に東腎協役員の人事問題が焦点になりそうです。

つまり、活動している人ほど社会復帰の確率が高く、それは直接に東腎協の活動の停滞につながっていくという悩みで

◆年賀状

ありがとうございます

（一月4日まで）

全国腎臓病患者連絡協議会、腎研究会
東京難病団体連絡協議会、障害者の家族
の生活と権利を守る都民連絡会

宮城県腎臓病患者友の会、福島県腎臓
病患者連絡協議会、群馬県腎臓病患者連
絡協議会、千葉県腎臓病患者友の会、埼
玉県腎臓病患者友の会、長野県腎臓病患
者連絡協議会、富山県腎友会、兵庫県腎
友会、香川県腎臓友の会、愛媛県腎臓病
患者友の会、大分県腎臓病患者連絡協議
会、静岡県腎友会

東京共済病院人工透析室、月島サマリ
ア病院、代々木病院腎友会

明けましておめでとございます。

役員の皆様、いつも有難うございます。

すね。現在の役員で精いっぱいやっていく以外に当面の方法はないと思えますので会員のみなさんが積極的に支援していただくようお願いいたします。

今年、昨年に引き続き健保改正問題があり、都の財政によつてはもつとも困難な年になると思われまます。
会員の拡大も引き続き努力していきま

明けまして

おめでとございませう

これからの厳しい時代を生き抜くためにも、会員が団結し、共に助け合い励ましあいながら力強く頑張りますよう。

一九七九年 元旦



す。その為には専任の役員を配置していただきます。現在、都内で一五〇カ所まで透析をしています。東腎協に加盟しているのは約五〇で、未加盟病院に積極的に訴えていきたいと思っております。

—— どもありがとうございました。

(聞き手・加藤)

会の皆さんの頑張りを見習つて私も元気に一年を過す事が出来ました。又、一昨年の十月には宝生様はじめ大勢の人に助まされて、希望ももつてやっております。検査はいつも安定しています。これも皆様のおかげです。

役員の皆様、会員の皆様、今年も良い年で有ります様！

(岡部 美会)

石田厚史、上野信幸、荻原健次郎、風間尚子、木村秀夫、佐々木熙康、斉藤正、武富正治、趙鱒寿、原島順、柳基二、山本紀子、吉田修吾、門田昌子、斉藤一雄
奥野、テルモ株式会社、タカミ広告社
東光印刷



“病気について知りたい”

医療相談を42人が受ける

昨年十月一日(日)、午後一時から五時まで中野サンプラザにおいて「第三回腎臓病医療相談会」が開かれました。

九月十八日から三十日まで、医療相談の電話による申込受付をしました。問合せ

せは九十五件ありそのうち四十四人が実際に申し込みました。また、個人会員には案内状を出しました。

当日は、北里大学医学部助教丸茂文昭先生、大久保充人先生、あけぼのクリニック所長南郷英明先生、佼成病院内科東芝林先生と東京都医療社会事業協会の医療ソーシャルワーカー五人の協力を得て、また役員、事務局員七人が参加しました。

医療相談を受けた患者は四十二名で、性別、県別の内訳は次のとおりです。

△性別▽ 男 17人 女 25人

△都県別▽

東京	32人
埼玉	4人
神奈川	2人
千葉	1人
茨城	1人

△相談に来た人は、まず名前を①▽



長野 1人
山梨 1人
△東腎協入会者 3人▽
相談の内容は、症状、病気について知りたいと希望する人が多く、また療養生活の相談をしたいという人も多いようです。

山梨から医療相談を受けにきた患者さん、五十二年十一月会社の健康診断で蛋白が出るといわれ、それ以来埼玉の病



△ワーカーに病歴などを話します②▽

△先生に相談します⑧V



院に通院、身体がだるく、夜眠れないそ
ろです。現在、車で通院しているが一時
間五分もかかるため病院を移りたいと
希望しています。職業についても今まで
より軽い仕事をしているとの事。医療相
談は放送で知り、療養生活の相談をし
たいということでやってきました。

また、ある患者さんは、透析をそろそ
ろ準備しておくよりにと言われ、その上
病院は自分で捜しなさいとのことでど

していいのか途方にたづねて会場にやっ
てきました。東腎協役員がいろいろ話を
聞きましたが、最後には本人も納得して
自分でどうすればよいか理解できた
ようでした。

会場にくる患者さんは、やはり相当に
悩み、自分でどうしてよいかわからな
くなって来る人が多いようです。相談会が
終って何日か過ぎてある患者さんからは
次のようなお礼の手紙をいただきました。

「秋も深まってまいりました。十月一
日の腎臓病医療相談会では、いろいろお
世話になりました。ありがとうございます
た。

私は発病以来約十年たちました。昨年
ごろより高血圧がひどくなったことと、
年月の重みで精神的に参っておりまし
たところ相談会の先生のお話を伺い、ま
た透析していらっしゃるにもかかわらず、
仕事を持っていらっしゃる方、その他の方
々の体験談を読ませていただき、少し希望
が持てるようになってまいりました。今
後も会報を心の支えに読ませていただ
くつもりであります。

入会申込書同封いたしましたので、よ

ろしくお願いいたします。

かしこ

追伸

古い会報で余分がございましたらお願
いできませんでしょうか。療養の参考にな
りますのでよろしくお願いたします。



患者のための腎臓学 I

都立大久保病院腎不全センター

井上 篤

◎腎臓の構造

腎臓は腰部部に、左右一個づつ、各々約120/180gの重さのあるそら豆状の臓器です。これを縦に剖面を入ると、図1のようになり、外側の皮質といふところには、血液を濾過して原尿をつくる糸球体があり、内側の髄質といふところには、

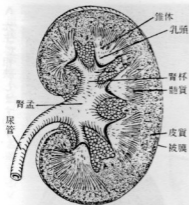


図1 腎臓

原尿を再吸収したり、これに分泌したりして、原尿の成分を再調整する尿細管という管があります。

図2に示すように、糸球体は、細い血管が、くねくねと糸の球のようになっていて、その中を血液が通る際に、血液の中の血漿成分(血液から赤血球や白血球などの固形物を除いたもの)が、しみ出して、つまり、血漿の

「限外濾過」が行なわれて、原尿という尿のもとができるわけです。この原尿の中には、人体に必要な水、塩、アミノ酸、ブドウ糖などが、多量に含まれていますので、次に、原尿が、尿細管という管を通る際に、こりい必要なものは、再吸収されます。

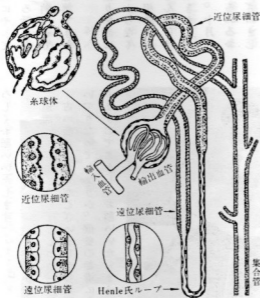


図2 ネフロン構成

水などは、原尿として約150/160g/日もあり、実際に、尿として排泄されるのは1.0/1.5g/日ですので、何と99%以上の水が再吸収されているということになります。再吸収のほかに、一部のもの(例えば、薬物や重金属など)は、この尿細管で分泌され、排泄されます。

このように、糸球体 → 近位尿細管 → ヘンレ脚 → 遠位尿細管 → 集合管という通路で尿がつけられますが、この腎臓の最小単位を「ネフロン」とよんでい

ます。ネフロンは一個の腎臓に、約百万個もあります。

◎腎臓の働き

腎臓の働きを一言で申しますと、体液（血液、組織液、細胞内液など）の成分や量を一定に保つことと言えます。具体的には、

- (1) 水、電解質の調整
- (2) 酸・塩基平衡の調整
- (3) 異物や老廃物の排泄
- (4) ビタミンDの活性化
- (5) エリスロポエチンの産生
- (6) レニンの産生

などが挙げられます。

(1)の水、電解質の調整は、腎臓の構造の項でも述べましたが、多量に水分を摂取した場合は、薄い尿をたくさん排泄し、逆に、水分摂取量が少なかったり、汗をかいたりして、尿以外の経路で、水分が多量に失なわれた場合には、尿を濃くして少量排泄するという具合です。電解質とは、水に溶けた状態で、電気を帯びているもので（イオンと言います）塩分などが、これに相当します。

通常、日本人の食生活では、塩分は10〜15g/日の摂取量ですが、水分と同様に、多く摂取した時には多く、少ない時には少なく排泄します。

(2)の酸・塩基平衡の調整は、体液のPHが7.35〜7.45の間に保たれるように、肺と腎臓で仕事を分担しています。PHは7.0が中性ですから、厳密には弱アルカリ性に体液を保つということになりますが、肺では、炭酸ガスの呼出量を加減し、腎臓では、酸のもとである水素イオンや、アルカリのもとである重炭酸イオンの尿中への排泄量を加減することにより、PHを調整しています。

(3)の異物・老廃物の排泄は、主に蛋白質の代謝産物を排泄しています。尿毒症になつて悪いことをする毒物は、蛋白質の代謝産物と考えられています。

(4)のビタミンDは、腸管からのカルシウムの吸収を促進し、骨の構造維持のためには、是非必要なビタミンですが、これが、実際に働けるようにするのが腎臓です。

(5)のエリスロポエチンは血液が造られる骨髄に、赤血球を造るよう刺激するホルモンで、これが少ないと貧血になります。

(6)のレニンは、血管を縮めて血圧を上昇させるアンジオテンシンという物質のもとになるもので、これによって血圧を調整しています。以上、大別すると、腎臓には6つの大きな働きがあり、人体にとっては、肝腎な役目をしているわけです。

(つづく)



仲間のたより



どんな時でも
希望をもつて

ニレ友の会

黒田 てる子

私は、二十才頃から慢性腎炎となり、入院生活も何回となくくり返しましたが、良くならず、徐々に悪くなり、去年の今頃は腎機能が四十%位になっていましたので、透析も他人事とは思えなくなっていました。

今年に入り、今の所、ほとんど治っているとはいえ、ネフローゼを患った事のある今の主人と結婚しました。

同じ病いを持つ者同志、理解し合えるとはいえ、私が主人に頼る形となり、主人も随分私の事をいたわってくれます。

妊娠とわかった時、子供を生むのだから、なるべく早い方が良いので、今がチャンスかもしれないと思いましたが、病院では「こんな身体では生めない、子供だつて小さな子供しかできないし、母体もたないよ」と言われ、悩みました。どんなに、命にかえて、生もうとした所で、子供が母体の中で育たず、変な子が

できたら……。子供だけが助かっても、それで、果して幸せといえるだろうか？子供にとっては、下手すると一生つきまとう障害がでるかもしれない。私だけの問題ではなく、子供の命がかかっている責任の重さをつくづく感じました。

考えれば考える程、難しい妊娠だといろことがわかりましたが、どうしてもあきらめるといふ気持ちにはなれませんでした。

悩んでいる内に、月日は過ぎてゆき、病院へ行けばことわられ、どうすればいいのだろうか、辛い毎日でした。

次々と病院を変わり、引き受けて下さる先生をさがしました所、やっと「それ程欲しいのなら」とうなずかれる先生にお会いした時は、本当に有り難いと感謝せずにはいられませんでした。

後は、折るような気持ちで頑張るだけです。運を天にまかせてこの自然のしくみは無事はたせませず様にと心より祈りました。蛋白はずつと卍のまま、息切れがしたりして、苦しい時もありましたが、弱音を吐いてはいけな思つて頑張りました。

機関誌の原稿 募集しています



機関誌には、なるべくたくさんの方のお便りを載せていきたいと思っておりますので、次のようなものをどしどしお送り下さい。

闘病体験
患者会の催し(旅行、食事講習会など)
詩、短歌など

<送り先>

〒161新宿区

東腎協機関誌係

しかし、とうとう八カ月の半ばで早産してしまい、一五〇㊦の小さな男児が元気な産声をあげて生まれてきました。
泣き声を聞いた時は、ああ、生まれたんだなあど喜びと安心感でいっぱいでした。

私の腎機能も三十%位に下がってしまいました。が、赤ちゃんという何よりもステキなプレゼントが授かったんですから文句は言えませぬ。

早産だった事が心配ですが、今は主人と二人で先日退院したばかりの子供の世界で生きて舞いの毎日です。でも、子

供って本当にかわいいなあどつくづく感じます。

しかしながら、あんな思いをするお産はもうこりごりだというのが私の感想。

そしてもう一つ、人間、何事もあきらめず、どんな時でも希望をもつて頑張れば道は開けるといふ事を学びました。

これからのいろいろな事があると思いますが、どんな事にも負けないで子供の成長を見守りながら、明るく生きていきたいと思えます。

(ニレ友の会機関誌「みちしるべ第51号」より)

透析十年を過ぎて

人工腎臓虎の門会

阿部 多恵子

十年一昔といいますが、私が透析を受けるようになって、早や十年の月日が過ぎて行きました。四十三年十月、腹膜灌流を開始、二年三カ月お腹にあけた穴の数も八回、腹膜透析も二年位は薬でしたが、後は苦しくていつも妊婦のようなお腹をしていました。いよいよお腹が使えなくなつた時、内シャントを作り、手術した翌日すぐ血液透析をしました。が、止血の時押えてもらつた指のあとが二日も消えない程腫れていて痛かつた事を今でもおぼえています。しかしその時作つたシャントが、いまだに使えているという事は幸せな事だと思っています。その頃は十年も生きられるなんて、考えてもみませんでした。九才を頭、六才、五才の三人の子供、主人や年老いた母の事を考えては、毎晩泣きあかしたものでした。

あれから十年、長女は成人式を迎え、二女も高三、長男も高校入学と三人共す



つかり大人になり私より皆大きく成長しました。現在大きくなった九子供達と、ちよつと太目になつた主人、七十八才になる私の母と、家族に囲まれて普通の主婦の生活を営んでいられる私から、十年前、毎日泣いて暮していた私を考えられない程です。しかし、こんな幸福な日々が送られるのも、いつも力づけて下さつた先生方、ナース、スタッフの皆様のおかげと家族共々感謝の気持ちを忘れた事はありません。私自身は、とても良い患者とはいえないと思います。体重増加、高カリ、高血圧と冬になるとためなのです。

夏は汗をかきやすい、わりといい方なのですが、寒くなると、どうしても血圧が高くなって来ます。それとカリの上りやすい体重とか、果物、生野菜、少しでも食べるとすぐ上つてしまふのです。それで体重もふやさないように食事の量を減らすとこれもまた、カリが上がるのです。カリばかりは私の悩みの種なのです。それに果物やお茶が大好きときてるのでいつも叱られています。それでも私達は昔にくらべると幸せなものだと思います。治療費の事もですが、食物も塩分と水分さえ気をつければ何でも食べられるのですから。

薬や機械の発達したお蔭で、これから何年か先、もつとよくなると思います。始めてまもない患者さんも、私と同じく十年も元気に通院している皆さんもいつまでも頑張つて虎の門分院には二十年も生きてる人がいると世間の人をびっくりさせてあげようではありませんか。

今年の冬も頑張りますよ。
 (人工腎臓虎の門会機関紙「生きる第17号」より)

東腎協第七回総会と

記念講演のご案内

日時 三月二十七日(日)

午前十一時より

会場 東京都障害者福祉会館

記念講演

「長期透析患者の問題と将来について」(仮題)

講師・大田和男先生

(東京女子医大教授)

※総会は午前から午後にかけておこなわれますので、参加者には弁当が用意されます。



東腎協はじめてのバスハイク

37名が参加し、楽しい一日をすごす

十月八日(日)、東腎協として初の試みであるレクリエーション(バスハイク)の栗ひろいが行なわれ三十七名(申し込み者は四十四名)が参加しました。

午前八時二十分過ぎ新宿を出発。上野、金町で参加者に乗せ、国道六号線を快調なペースで走りました。途中、我孫子ドライブインで休憩。食塩、水分制限をし



ている人はいないのでと思われるほどみな食べたり飲んだりしていました。

ちょうど十二時ごろに目的地の千代田村福田グリーン農園に到着。さっそく家にあがりこんでほっとひと息つきました。ゆで栗を食べながら簡単な自己紹介をしました。そのうちに栗ごはん(おこわ)が出て来て食事の時間。ごま塩をふりかけて食べている人もいました。

お尻から雲が切れて日差しも強くポツカポカと暖かくなりました。お腹もふくれて、それではとみんなでプラプラと栗畑に行きました。

小一時間位してから集合。午後二時過ぎに出発。帰りに筑波学園都市をまわって渋滞の国道六号線をした走り金町、上野、最後に新宿で参加者を降ろし解散しました。

栗ひろいを準備した役員は計画から最後の段階まで息をぬく暇もなく大変でした。

たが、参加した人たちはけっこう思い思いに楽しんでいる姿をみて、今までの苦労がむくわれた気持ちでした。

千代田村栗ひろいの記

東腎協常任幹事

山北 貴義

十月八日、待望の栗ひろいの日がやって来た。午前八時、第一陣を新宿へ集合、上野、金町と会長以下四十名の同志を集め九時半、一路千代田村へと出発した。金町で我われに氷の用意をしてくれた。丸事は誠に有難い事であった。

快晴にも恵まれ、車は松戸、我孫子とのどかな田園風景を後に快適な旅路であった。

十二時、目ざす目的の農家に着いた。静かなたずまいの中、大きな農家であった。直ちに室に通され、各自食事にありついた。栗ごはん、みそ汁、煮物と我われの心遣いがどれも薄味に調理されたものであった。

食後の一腹の後、直ちに裏の大きな栗原に案内された。あるわ、あるわ。いく

らも歩かぬ内にビニール袋に半分程集まつた。

聞けば一袋三キログラムは入る由。とれたものはキロ四八〇円で買上げるとの事で各自それ等を考えながら集める事に余念がなかった。

快適な天候に恵まれ楽しい栗ひろいであった。多くの者が赤い手帳のハンディ（障害者手帳）を負いながら、一同常人と変らぬ元氣さである事に驚いた。

中年の者、老年の者、気の合つた者同志名刺を交換しながら、高年者は野戦の苦勞話等々、車の渋滞を忘れ嬉々として愉快なものであった。時間もありバス会社の御厚意で緑の文教村筑波大学周辺を一巡した。近くの公園で下車。散歩もできた。滝あり池あり見事な公園であった。六時、車は懐しの東京の夜景に吸いこまれるようにして入った。

楽しい旅も一人の事故者もなく終りホッとした。

思えば、会長始め各位のこれまで取りまとめの御苦勞を思うと、ただただ感謝あるのみである。

次回の旅行を期待しつつ…。

10月1日

第五回関東ブロック会議開催

八都県20名が参加

昨年十月一日に長野県の中軽井沢、長野温泉ホテルにて第五回関東ブロック会議が開かれました。

東腎協からは私と糸賀常任幹事が派遣され、全部で八都県二十名の参加を得て盛大に開催されました。

会議は、まず主催県の長野県腎協松本会長のあいさつで始まり、次に全腎協を代表して、全腎協上田会長のあいさつがありました。

上田会長のあいさつでは、厚生省の概算要求では、考え方として透析より移植に重点が移りつつあるということでありました。これは、医療費に占める透析医療の割合を圧えるため移植を盛んにしていこうというこのようでした。

次に各県の活動報告に移りましたが、それぞれ各県とも持てる力を出してせいっぱい活動している感じを持ちました。特徴としては、各県とも旅行やソフト

ボール大会等の催しが東腎協より多く、親睦面には力を注いでいるようでした。腎移植については、埼玉県では果に請願を行ない、検討していくということです。栃木県では死体腎移植は一例であり、現在元氣であるとの事です。群馬県では、

生体腎移植で三例あるが、二例が死亡で、一例が成功とのこと。千葉県では佐倉のセンターなどがあるが、患者の間ではあまり盛り上っていない、運動としては果に補助を要請していくとの事でした。その他、神奈川県、長野などから報告があつたが、東京については患者一人でドナー二人獲得運動などは行なつたが、あまり盛り上つてはならず、現状もなかなか把握できない状態です。

また社会復帰については、総じてどの果でもいうことは、患者に働く意欲がないということでした。

しかし、反面神奈川県では患者の会社を

作る計画をもったり、群馬のように病院に雇用を呼びかける等、各県とも苦勞をしているようでした。

医療費の改訂後の影響では、コイルの変更や給食の問題などがあるが、總じてあまり大きな影響はなかったとのことでした。



あと、慢性腎炎患者に対する対策は各県とも遅れており、組織化とも苦勞をしているようでした。

議題では、まずブロック会議の方式（持ち方、在り方）について協議をし一定の方式を決めました。

健保改正の問題については、色々検討の結果、既にハガキ戦術を行なった県も

全腎協学習会に

東腎協から九名参加

昨年十二月二日から三日にかけて、全腎協第五回学習交流会が読売ランド学生ホテルで開催されました。二十四都府県から六十四名の参加があり、東腎協からは泉山、加藤、石川、高橋、山北、草間、森井、山田、柳の九名が参加しました。

二日午後三時から、「腎臓病患者と福祉―福祉制度と患者の生きがい」というテーマで阪上裕子（国立公衆衛生院）さんが講演されました。

夜は、自由参加の患者同志の交流会が

あり、各県独自に取り組みブロックとしての統一した結論は出ませんでした。

その他、「事務局体制の強化」、「過疎対策について」、「透析患者の家族協力について」が議題となったが、後の二つは途中で時間がなくなり次回持ち越されました。

（泉山記）

ありました。透析十年で最近本も出版した愛知県の中村さんの苦しい闘病体験や完全夜間透析を行なっている福井県の患者の体験など非常に参考になる事も聞くことができました。

三日午前九時からは、作家の藤原審爾さんが「人間の生き方」について講演されました。

藤原さんは、結核で長い間入院生活をされたこともあり、また今でもいろいろな病気をかかえているだけに話される内容も私たちにとても興味あるものでした。講演が終わった後、二日間の締めくくりとして交流会が一時間ありました。

（なお、学習交流会の詳細な点については全腎協会報33号をご覧ください）

事務局からのお知らせ

よろしく
お願いします

(53・10/12月まで)

△個人会員入会者▽

53・10月

的場義雄・国米慧子・飯田千鶴・松下

信子・須崎時子

△患者会入会▽

53・12月

入谷クリニック腎友会

会員数 四名

「透析患者の自己管理に
関するアンケート調査」

現在、透析をしている患者に対して、自己管理、社会復帰などの実情を明らかにするためのアンケート調査が近く会員皆さんの手元に届きますので、よろしく御協力下さい。発送は一月下旬の予定です。

△全腎協国会請願は

一月三十日(火)実施

毎年行なっている全腎協の国会請願は

一月三十日(火)に行なわれることになりました。会員一人ひとりが努力して集めた署名を持って各党の国会議員に紹介議員になってもらうよう働きかけます。

東腎協第二回幹事会

二月十八日(日)に開催

東腎協第二回幹事会が来る二月十八日(日)全社連会館会議室において開かれます。時間は午前十一時～午後四時までで食事も用意されます。会議の内容は、総会議案の承認、アンケート調査の回収協力についてなどです。なお、午前十一時～午後一時まで食事をしながら交流会を持ちます。

△編集後記▽

あつという間に一年が過ぎ、また新しい年を迎えましたが、今年も患者にとつて厳しい年になりそうです。

最近、患者さんのお便りがほとんどありませんので、ぜひ今年はたくさんの方が書いて送って下さい。

(加藤)

ひとりだけの旅でも・・・

- ☆全国旅館幹旋
 - ☆国鉄、私鉄航空券手配
 - ☆大型、小型バス手配
- (バス小人数でも相談に応じます)



お気軽に御相談下さい

幸和観光

営業所・品川区大井4の19の13

電話 (03)-775-0697

昭和五十一年二月二十五日第三種郵便
SSSKO通巻第三百十三号
昭和五十四年一月八日発行

発行所

身体障害者
東京都世田谷区砧八一二一三
定期刊行物協会の

領価百円